

豊かな心の育成と深い学びの実現に向けた放送教育 ～さまざまな視聴環境のもとでの番組利用と情報機器の活用～

I 本研究会の概要と目的

【概要】

本研究会は、昭和44年に結成され、全国組織「全国放送教育研究会連盟」に所属する団体です。放送教育を進める、東京都内の特別支援学校・特別支援学級および特別支援教育に関わる人々で構成されています。

【研究目的】

本研究会は都内の特別支援学校・特別支援学級相互の緊密な連携のもとに特別支援学校・特別支援学級における放送教育の研究を推進し、その振興発展をはかることを目的としています。本研究の主な事業内容は以下の通りです。

=研究会事業内容=

1. 放送教育の研究
2. 放送教育（情報の活用および制作）を推進する研修会の実施
3. 研究資料、機関紙等の発行
4. 各教育団体、研究団体との協力

【主な活動】

本研究会は以下の項目を企画運営に関わり、都内の特別支援学校を中心に放送教育とICT機器活用の普及に努めています。

1. 番組活用・映像制作に関する研修
2. 全国放送教育研究会連盟、放送教育研究会全国大会
3. 東京都特別支援学校文化連盟：放送・映像部門の企画・展示・運営
4. 「都特放だより」の発行

II 夏季研修講座の実践報告 その①

=本研修講座について=

■日時 8月21日（木）9:00～16:30

■会場 NHK放送センター

■対象 都立特別支援学校の教員

■本研修講座の内容

1. 生成AIの基本ワークショップ
2. AIを使ってNHK for Schoolを活用した指導案作り
3. 受講者からの質問コーナー
4. NHK for School等活用事例
5. NHKより番組紹介

■本研修講座について

生成AIを活用して授業づくりを効率化し、子ども一人ひとりに合わせた教材へとカスタマイズする方法を学びました。NHK for Schoolの番組を題材に、指導案やスライド、ワークシートをAIで生成し、教員が実態に合わせて修正していく流れを体験しました。NHK for Schoolの最新情報もあり、充実した時間となりました。

=NHK for Schoolの活用事例=

本研修会所属の坂本 優奈（都立立川学園 聴覚障害教育部門）、川口尚人（都立光明学園 病弱教育部門）、菱 真衣（都立あきる学園 知的障害教育部門）3名のNHK for Schoolを活用した授業実践を紹介しました。普段の授業準備のヒントとなるものがたくさんあり、今後の教育活動の充実につながる内容となりました。

Ⅱ 夏季研修講座の実践報告 その②

=生成 AI の基本ワークショップ=

【講師】

兵庫県立氷上特別支援学校 黒田 一之 先生

埼玉県立越谷西特別支援学校 佐藤 裕理 先生

【ワークショップ内容報告】

黒田先生と佐藤先生を講師に迎え、生成 AI の実践活用を学びました。ゴールは「研修終了時点で、明日から使えること」。参加者は体験を通して授業・校務に即した使い方を掴みました。まず、教師の強み(生徒理解・目標設定)×AIの強み(素早い叩き台生成・多案提示)を掛け合わせる考え方を共有しました。プロンプトは「役割定義(例:



特別支援学校教員)」「学年・発達段階・コミュニケーション手段・好み・短期目標」など条件を具体化するほど精度が上がることを確認しました。続いてキャッチコピー作成で“AI なし→AI あり”の比較を体験し、短時間で質を高める手順を学習しました。メインのワークでは黒田先生と佐藤先生らが運営する「アシストAI プロンプトサイト」を用い、ねらい・準備物・展開・評価観点まで含む指導案の下書きを生成し、個別の実態に合わせて教員側で上書きする流れを実践しました。資料活用では、Google NotebookLM に学習指導要領や校内マニュアルを読み込ませ、根拠表示付きで要点抽出・Q&A 化する方法が紹介されました。形成的評価では、授業資料や指導案から確認クイズ(Kahoot 等)を生成→インポートする時短手順を実演いただきました。あわせて、個人情報の扱い・無料版利用時の学習データ設定・著作権(特に画像生成の校外公開)・AI 出力の検証など、校務で押さえるべき留意点も整理しました。

Ⅲ 夏季研修講座の実践報告 その③

=AI を使って NHK for School を活用した指導案作り=

NHK for School の番組を題材に、生成 AI を活用して「目の前の子どもに合わせた授業づくり」に挑戦しました。まず、各自が NHK for School の番組を検索・選択し、その「あらすじ」を AI に読み込ませて指導案を生成する手順を体験しました。発達段階や学級の課題を条件として与えると、AI はねらいや発問、想定される生徒の反応まで含んだ案を提示してくれます。その上で、教師がクラスの実態に合わせて修正・取捨選択を行うことで、短時間で実際に使える学習指導案が形になっていきました。さらに、AI はスライド資料やワークシート、評価の観点なども自動で叩き台を用意できます。これにより、授業づくりの初期段階を効率化し、教師が「子どもの特性に合わせた調整」に時間を割ける利点が見られました。研修を通じて、「AI は教師の代わりではなく、授業作りのパートナーである」という認識が共有されました。そして、最終的に授業を構成し責任をもつのは教員自身であるという視点を確認しました。



【本研修で活用・紹介したアプリなど】

<令和7年度連絡先>

団体名		東京都特別支援教育放送教育研究会	
代表者	所属	東京都立青鳥特別支援学校	
	職 氏名	統括校長 高橋 馨	
	連絡先	03-3424-2525	
事務局	所属	東京都立清瀬特別支援学校	
	職 氏名	主任教諭 加世田 和明	
	連絡先	042-494-0511	
団体ホームページ	URL	二次元コード	